

久留米大学を受診した患者さんへ

「線状 IgA 水疱性皮膚症における自己抗体の臨床研究」の研究に使用する試料（資料）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料（保存している血液）を使用します。

- 1) 期間：1996年1月から2014年12月
- 2) 受診科：皮膚科
- 3) 対象疾患名：線状 IgA 水疱性皮膚症
- 4) 使用する試料（資料）：血液、診療録

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：皮膚科
研究代表者：教授 名嘉眞武国
研究分担者：准教授 石井文人
講師 古賀浩嗣

2) 研究の意義と目的：線状 IgA 水疱性皮膚症は、自己免疫性水疱症の一種であり、表皮下水疱を形成します。蛍光抗体直接法で基底膜に IgA が沈着することが定義とされていますが、蛍光抗体間接法や免疫ブロットで IgG 型の自己抗体が検出される例が報告されています。これまでに血清学的に自己抗体を解析した多数症例の研究がないため、今回、当科の 101 症例の患者情報を臨床的、血清学的に臨床的に検討することは、線状 IgA 水疱性皮膚症の診断、治療、病原性の解明に貢献すると考えられます。

3) 研究の方法：日常診療で用いられている診療録や検査結果や保存血清を用い、蛍光抗体間接法や免疫ブロット、enzyme linked immunosorbent assay (ELISA) 法を用いて血清学的な解析を行います。

4) 研究期間：2015年8月倫理委員会承認後～2020年7月31日

5) 上記の試料（資料）の使用を選定した理由：使用する試料（資料）が線状 IgA 水疱性皮膚症と確定診断がついていたため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：個人情報漏えい防止のため厳格に試料や資料は保管します。

- 7) 研究成果の発表の方法：学会及び論文発表
- 8) その他：指定企業からの資金援助がない為、利益相反なし。
- 9) 事務局、問い合わせ、連絡先：
名嘉眞武国（久留米大学皮膚科 教授）
福岡県久留米市旭町 67
(TEL) 0942-31-7571、(FAX) 0942-34-2620

研究番号 15109